

中 社会科 中学生の地理
日本の歩みと世界の動き
(歴史707)
拡大版 [26P] (全7分冊)①

社会科

中学生の 歴史



日本の歩みと世界の動き
拡大版 [26 P] ①



帝国書院

中学校歴史 26ポイント A4版



じょうもん なが 縄文時代を眺めてみよう

きげん せいぎ
(紀元前25 ~ 前20世紀ごろのある場面)

 次の場面を さが探してみよう！

次の場面は、**ア** ~ **カ** のどれに当たるか、() に記号を入れてみよう。

- ①、あな ほ 穴を掘り、その上に屋根を付けた じゅうきよ 住居に住んでいます。 ()
- ②、ゆか 床を高くした倉庫に、しゅうかく 収穫した米を運んでいます。 ()
- ③、集落の周りには、さく ほり 柵と濠がめぐらされています。 ()
- ④、落とし穴を使って、イノシシを つか 捕まえています。 ()
- ⑤、鏡を用いて、まじないを行っています。 ()
- ⑥、なわ 縄などで、土で出来た器に もんよう 文様を付けています。 ()

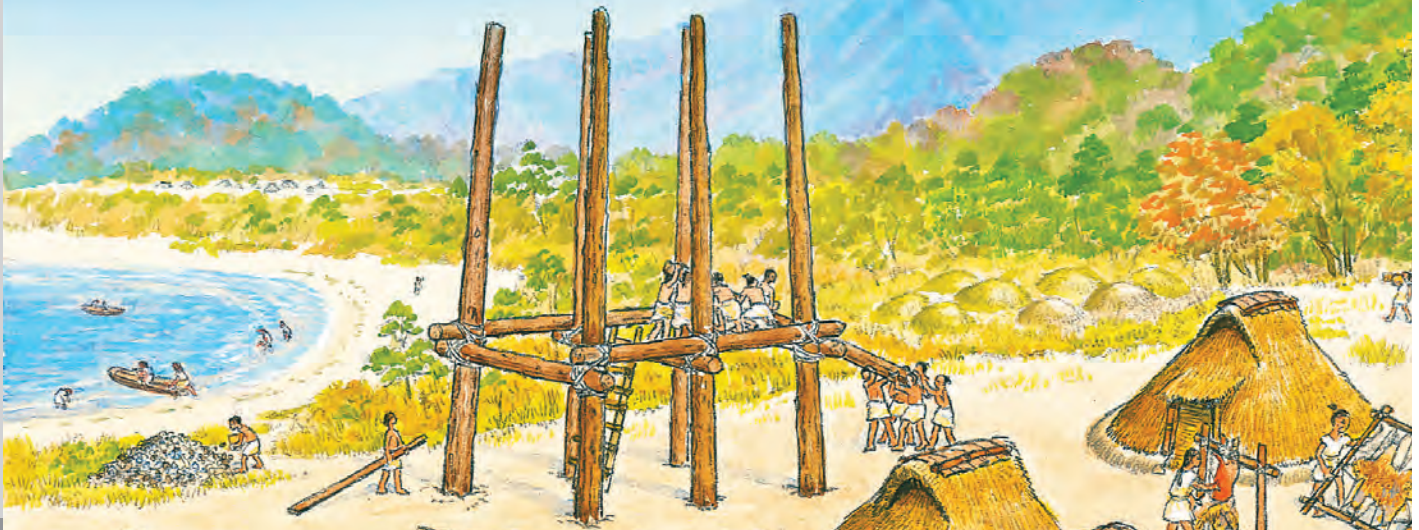
ヒント ① → p.26 ② → p.27 ③ → p.28
④ → p.26 ⑤ → p.28 ⑥ → p.26

A

B

縄文時代

1



2



3



24-3

C



24-4

やよい 弥生時代を眺めてみよう

(紀元2～3世紀ごろのある場面)

奈良時代 p.34～35 ▶



小学校で学んだ

主な出来事

じょうもん
縄文時代

やよい
弥生時代

約1万年前

日本列島が

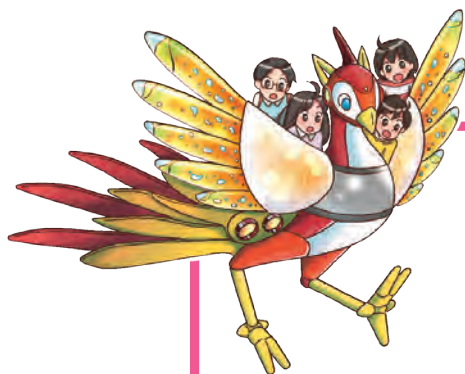
大陸から

切り離される

紀元前3世紀

いなさく
稲作が

伝わる



わたし せんし
私 たちは先史時代の日本列島

にきています。 [24-3] ～ [24-4]

ページは、じょうもん
縄文時代といわれる時代で、
とうほく
東北地方のある集落の様子です。 [25-3] ～

[25-4] ページは、やよい
弥生時代といわれる時代
で、九州地方のある集落の様子です。

25-1

こぶん
古墳時代

○卑弥呼が
倭国の
女王となる

↓ ① ひみこ
卑弥呼



5世紀
ヤマト王権が
勢力を広げる

二つの時代をくらべて特色を考えよう

二つの時代を比べると、どのような点が変わり、どのような共通点があるのでしょうか。例えば、場面 **力** のように弥生時代に新しく出来たものを挙げてみよう。

D

E

1

工

2

才

3

力

25-3



弥生時代



第2節

東アジアの中の倭（日本）

第2節の問い
p.26～31

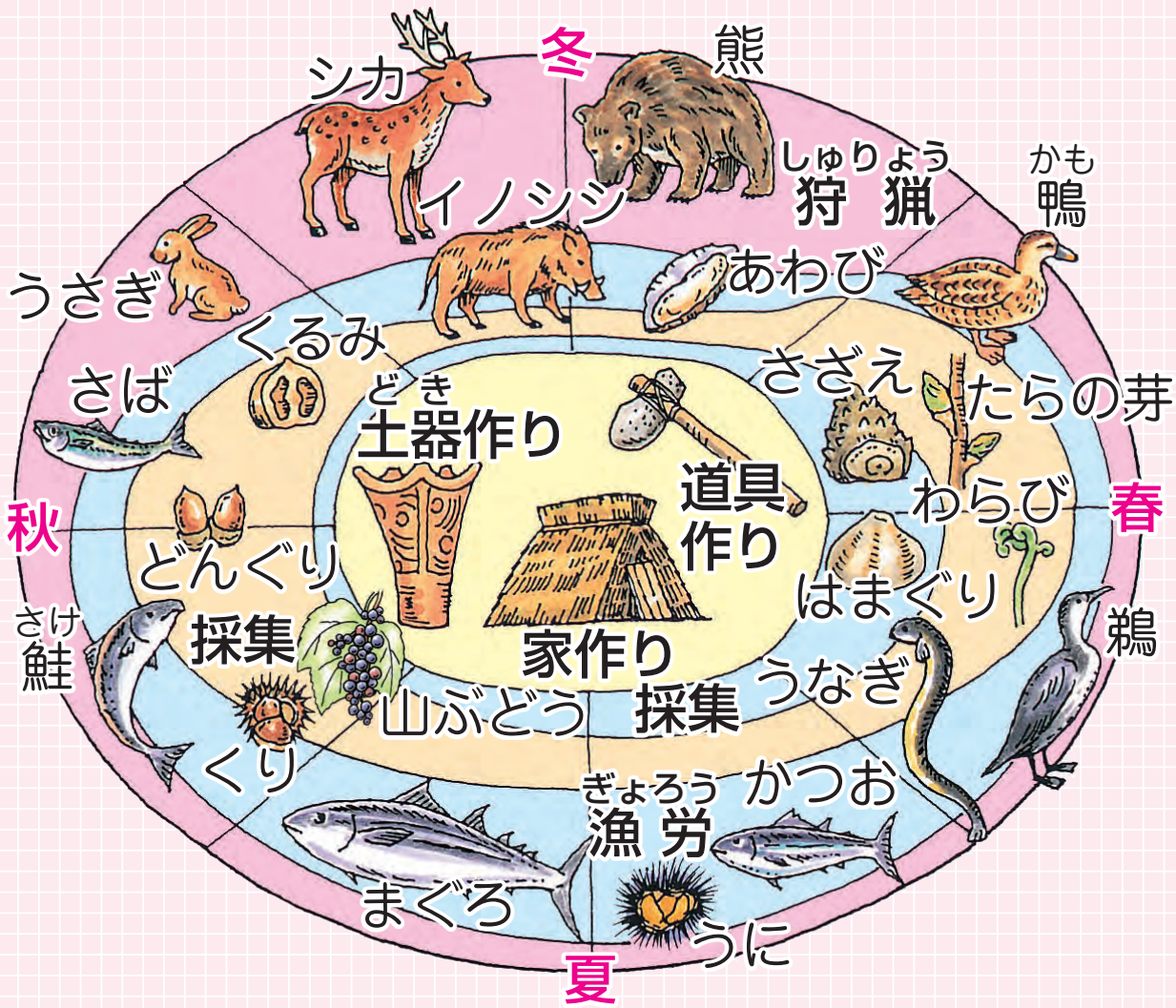
日本列島には、どのようにクニが出来て、^{せいりよく}勢力を広げたのだろうか。

↓① ^{じょうもん}縄文時代のたて穴住居での暮らし（秋）（復元）〈新潟県十日町市博物館蔵〉



26-1

かいづか ↓ 2 貝塚などから分かる 縄文時代の人々の食生活



	縄文
B.C.	
A.D.	
1	弥生
2	
3	
4	古墳
5	
6	飛鳥
7	
8	奈良
9	
10	
11	平安
12	
13	
14	鎌倉
15	
16	南北朝
17	
18	室町
19	
20	戦国
21	
	安土桃山
	江戸
	明治
	大正
	昭和
	平成
	令和

26-2

↓^{じょうもんどき}3 縄文土器 〈上 青森県出土『深鉢形土器』東京国立博物館蔵，下 新潟県出土『火焰型土器』十日町市博物館蔵〉



(全長約 32 cm)



国
宝

(全長約 47 cm)

じょうもんどき やよい
縄文土器と弥生土器は
それぞれどのよう
に使われたのかな。



1

じょうもん 縄文から やよい 弥生への変化



学習
課題

縄文・弥生時代の日本列島の人々の生活には、どのような特徴があったのだろうか。

どき 土器が生まれた じょうもん 縄文時代

氷期が終わり (➡ 15-7 ページ), 海水面が^{じょうしょう}上昇すると, 日本列島は大陸から切り離^{はな}され, 約1万年前に, ほぼ^{げんざい}現在の姿^{すがた}になりました。日本列島では, 気候が^{あたた}暖かくなったことで森林が広がり, 食用となるどんぐり・くるみなどの木の实や, イノシシ・シカなどの

B.C.	縄文	
A.D.	弥生	
1		
2		
3		
4	古墳	
5		
6		
7	飛鳥	
8	奈良	
9	平安	
10		
11		
12		
13	鎌倉	
14	南北朝	
15	室町	
16	戦国	
17	安土桃山	
18	江戸	
19	明治	
20		大正
20		昭和
21	平成	
	令和	

けもの ^ふ 獣が増えました。また、魚や貝も ^{さか} 盛んに取られるようになりました。

狩り (→ 24-3 ページ **ウ**) や 漁 (→ 24-3 ページ **A1**) ・ 採集 (→ 24-3 ページ **A3**) で得た食料の保存や煮炊きのために土器を使うようになり、食べられる物の種類が増えて、食生活は豊かになりました **2**。このころの土器は、表面に縄目の文様が付けられていることが多いので **縄文土器** **3**、

(→ 24-4 ページ **イ**) といいます。食生活の充実で人口も増え、地面に穴を掘り屋根を付けたたて穴住居 **1**、(→ 24-3 ページ **ア**) に定住するようにもなりました。住居の近くには **貝塚** **1**、(→ 24-3 ページ **A1**) が出来ました。また、自然界のあらゆる物に神が宿ると考えられ、食物が豊かに実ること

26-5

などを祈り、まじないに使うための土偶

④, (➡ 24-3 ページ A2) も作られました。

青森県の三内丸山遺跡では、当時の人々が、優れた技術で大きな建物を造り (➡ 24-3 ページ B1), 遠い地域と物の交換を行っていたことが分かっています (➡ 29-4 ページ)。こうした生活が続いた約1万数千年前から紀元前3世紀ごろまでの時期を縄文時代、またその文化を縄文文化といいます。

B.C.	A.D.	時代
	1	弥生
	2	
	3	
	4	古墳
	5	
	6	
	7	飛鳥
	8	奈良
	9	平安
	10	
	11	
	12	
	13	鎌倉
	14	南北朝
	15	室町
	16	戦国
	17	安土桃山
	18	江戸
	19	
	20	
	21	明治
		大正
		昭和
		平成
		令和

小学校 ● 地理 ● 公民との関連

縄文の暮らし (小), 稲作 (小)

26-6

① 集落近くのごみ捨て場のことで、^{かいがら}貝殻だけでなく、^{せっき}石器や^{どき}土器などが^{ふく}含まれ、当時の人々の暮らしを知ることができます。

↓④ ^{どぐう}土偶 女性の形をしているものが多いといわれています。〈左 青森県出土 東京国立博物館蔵 重要文化財、右 山形県出土 山形県立博物館蔵〉



(全長約34 cm)

(全長約45 cm)



26-7

いなさく
稲作が広まった
 やよい
弥生時代

縄文時代の終わりごろ、中国や
 ちょうせん 朝鮮半島などから北九州へとらい 渡来した
 人々がいなさく 稲作を伝え、稲作は西日本から
 東日本へと広まっていきました。この
 とき渡来した人々と縄文人が少しずつ
 ま 混じり合い、のち 後の日本人や文化が形づ
 くられていきました。土器も縄文土器
 よりうす 薄くてかた 硬く、米の保存・煮炊きに
 てき 適した弥生土器⑤、(→ 25-3 ページ
D2) が作られるようになりました。

稲作には多くの人々が協力して作業
 することが必要でした。人々はもくせい 木製
 のすき やくわ で たがや 耕し、水田を広げ

	縄文
B.C.	
A.D.	
1	弥生
2	
3	
4	古墳
5	
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	
10	平安
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土桃山
18	江戸
19	明治
20	大正 昭和
21	平成 令和

ました。収^{しゅうかく}穫した稲は石包丁や鉄^{てつせい}製の
鎌^{かま}で穂^ほ先^{さき}を摘^つみ取り (→ 25-4 ページ F3),
稲穂^{いなほ}からもみ殻^{がら}を取り去るためにはきねと
臼^{うす}を使いました (→ 25-3 ページ E2)。ま
た、水田近くの台地に定住してムラ (集
落) をつくり、たて穴住居 (→ 25-3 ペー
ジ E2) に住みました。稲を蓄^{たくわ}えるための
高床倉庫^{たかゆかそうこ} ⑥, (→ 25-3 ページ オ) も造ら
れました。

稲作とともに、青銅器^{せいどうき} (→ 16-4 ペー
ジ) や鉄器^{てつき} (→ 17-7 ページ) も中国や
朝鮮から伝わりました (→ 18-5 ページ)。
銅鐸^{どうたく} ⑦ や銅劍^{どうけん} ⑧ ・銅矛^{どうほこ} などの青銅器 (→
25-3 ページ D1) は、豊作^{ほうさく}を神に祈る祭
りの道具として使われました。青銅器より硬
い鉄器は、武器^{ぶき}や工具として用いられました。

27-2

この時代を^{やよいじだい}弥生時代，その文化を弥生文化といい，紀元前3世紀ごろから紀元3世紀ごろまでの約600年間続きました

②。ただし，日本列島全体に^{いっせい}一斉に稲作が広まったわけではなく，縄文時代と変わらない狩りや漁の生活を続けていた地域もありました（➡ 29-4 ページ）。

② 近年，^{どき}土器に付いたお焦げ（^こ炭化米）の科学的な^{ぶんせき}分析によって，^{やよい}弥生時代の始まりは，これまでよりも古い^{きげん}紀元前10^{せいき}世紀と考える説も出されています。その場合には，^{じょうもん}縄文・弥生時代の区分にも^{えいきょう}影響^{かのうせい}が出る可能性があります。

	縄文
B.C.	弥生
A.D.	
1	
2	
3	
4	古墳
5	
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	平安
10	
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土桃山
18	江戸
19	明治
20	
20	
21	平成
	令和

↓**5** ^{やよいどき}弥生土器 ^{せいぎ}(2世紀ごろのもの) ^よ弥生土器の呼び
^な名は、^{めいじ}明治時代に現在の東京都 ^{ぶんきょう}文京区弥生から土器
 が出土したことから付けられました。左から「^{たかつき}高坏」「つ
 ぼ」「かめ」。〈大阪府出土 東大阪市立郷土博物館蔵〉



(全長約22 cm)



(全長約27 cm)



(全長約25 cm)

↓**6** ^{しゅうかく}秋の収穫の様子 戦後、静岡県 ^{とろいせき}の登呂遺跡の
^{はくつちょうさ}発掘調査で、このような大規模な水田の遺跡が見つ
 かり、稲作の様子が分かるようになりました。

〈復元模型 大阪府立弥生文化博物館蔵〉



たかゆかそうこ
高床倉庫

じゅうきよ
たて穴住居

27-4

↓ **7** どうたく 銅鐸 (右) と表された模様 (左2点) 漁
 だっこく もよう
 や脱穀の様子^{えが}が描かれています。〈兵庫県出土
 神戸市立博物館蔵〉

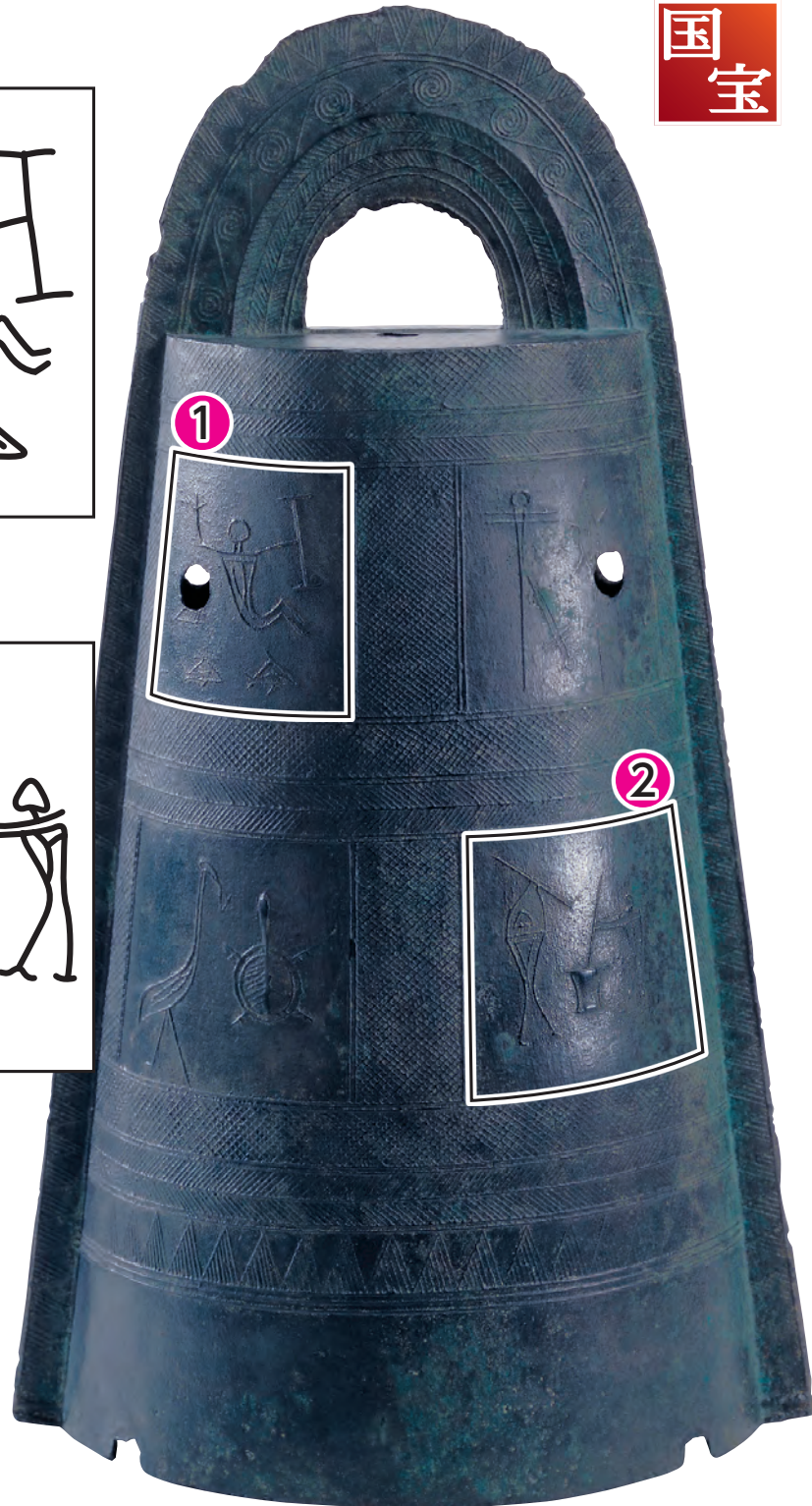
(全長約39 cm)

**国
宝**

1



2



	縄文	
B.C.	弥生	
A.D.		
1		
2		
3		
4	古墳	
5		
6		
7	飛鳥	
8	奈良	
9	平安	
10		
11		
12		
13	鎌倉	
14	南北朝	
15	室町	
16	戦国	
17	安土桃山	
18	江戸	
19	明治	
20		大正
20		昭和
21	平成	
	令和	

27-5

↓**8** ^{こうじんだにいせき} ^{どうけん} 荒神谷遺跡の銅剣 (島根県出雲市) ^{いずも} この遺跡
では銅剣358本・銅矛^{どうほこ}16本・銅鐸^{どうたく}6個が見つかり
ました。一か所に^う埋められた理由ははっきりしていま
せん。〈島根県教育庁埋蔵文化財調査センター提供〉



27-6

確認
しよう

じょうもん やよい とくちょう
縄文時代と弥生時代の特徴を、
本文からそれぞれ二つ以上書き出して
みよう。

説明
しよう

かんきょう
縄文時代と弥生時代では、環境の
変化に合わせて、生活がどのように
変化したか説明してみよう。

	縄文
B.C.	
A.D.	
1	弥生
2	
3	
4	古墳
5	
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	平安
10	
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土桃山
18	江戸
19	
20	
21	明治
	大正
	昭和
	平成
	令和